

のぞみふくいニューズレター

第53号(2015年第2号)



(公益財団法人) がんの子どもを守る会 福井支部 発行
TEL・FAX 0776-22-5132
Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp
本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>
支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>
支部 facebook ページ <https://www.facebook.com/gannokodomofukui>

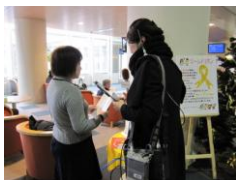
春爛漫桜の花が満開です。日本中がピンク色です。福井は満開と同時に雨が降り続き、お花見ができません。もう少し散るのは待ってくださいね。。。4月に入り、入学、入社、転入、転勤とフレッシュな方々が社会全体にあふれています。期待に胸を膨らます一方、ちょっぴり不安もあろうかと。若葉マークの方には周りがやさしく接しないとイケません。病気の子もたちも同じです。初めて入院した時は、みんなドキドキ不安でいっぱいなんです。どうかやさしくお願いします。。。新年度です。2015年度も患者・家族の気持ちに寄り添う支援を目指して頑張りますので、本年度もご支援ご協力よろしくお願い致します。(文責:代表幹事)

のぞみ福井ピアサポートカフェ 1/18 福井・3/15 鯖江

1月、冬季雪が積もっても奥越からバスが通っているので、済生会病院の東館3階カファールルームをお借りして、行いました。事前に小慢の手続き更新書類にも案内を入れていただいたため、治療中のお母様3名参加がありました。亡くした親の会の雪うさぎの会のメンバーも4人集まり、それぞれにわかれてグループワークをしました。3月は丹南地区として、鯖江市の市民活動交流センターで行いました。2年前にお子様を亡くしたお母様が1名新しく来られました。一度参加したかったのだが仕事で来れずについて、やっとこれたとおっしゃっていました。同じ、亡くした親の雪うさぎのメンバーと話が咲きました。やはり、ピアサポートを継続していてよかったと思います。本年度も年4回やります。予定は5/24 福井市 済生会病院、8/2 嶺南美浜町 ナビアス、11/8 坂井・あわら地区、翌年1/17 丹南越前市 でやりますので、ご参加ください。

2月15日(日) 国際小児がんの日啓発キャンペーン

バレンタインデーの次の日は国際小児がんの日です。今年も2月初めから、ゴールドリボンツリーキャンペーンとして、済生会病院様と、アピタ敦賀店様のご協力を得、子どもにもがんがあること、世界、日本中のみならず福井にも小児がんと闘っている子どもたちがいること、小児がん支援リボンがゴールドであることを知っていただくために、布のゴールドリボンをクリスマスツリーに結んでもらうキャンペーンを開催しました。敦賀店では、小児がんの子どもが描いた絵のパネルの展示も行いました。マスコミにも多く取り上げていただきました。福井新聞様、毎日新聞様、日刊県民福井様、福井テレビ様ニューススポット、福井放送



様ラジオ情報番組、嶺南ケーブルテレビネ

ットワーク様情報番組。ありがとうございました。

2月15日(日)当日にはフェアモール福井アピタ大和田店様のご協力で、店頭入口において啓発カードとティッシュ、お子様には風船を配り募金活動も併せて行いました。皆さまのご浄財は国際小児がん親の会へ一部送金し残りは、小児がんの子どもとご家族のために使わせていただきます。たくさんの温かいお気持ちをありがとうございました。

3月1日(日) 「ごえんなコンサート」 福井県立音楽堂ハーモニーホール福井

NPO 法人朴の会様主催のプロの音楽家の演奏、歌唱と、竹下恵子さんの朗読、地元の合唱団とのコラボによる楽しいチャリティーコンサートです。守る会にご寄付いただいております。地元の小児がんのお子様とご家族も招待頂きました。福井は2回目です。竹下恵子さんは美しく温かい方で、思ったより小柄な方でした。代表幹事が、お花を渡した感想です。

4月4日(土) 第29回日本医学会総会 in 神戸 疾患啓発イベント「小児がん治療の今、これから」WEB 生中継会 (福井支部総会兼ねて)

桜満開の福井、皆既月食の日でした。がんの子どもを守る会主催のシンポジウムを福井にいながらにしてみようそして、一緒に考えようということで、福井支部の総会としてWEB 生中継をさせていただきました。福井大学医学部附属病院様ががん診療推進センター様の全面のご協力で、設備の整った素晴らしい白翁会ホールという施設をお借りすることができました。また、アフラック福井支社様からも筆記具のご寄付を頂きました。今回、福井会場には24名参加がありました。

内容は、小児がん拠点病院、中央病院が指定され、運営状況はどんなものか、課題は何かなどが15の拠点病院ごとに示され良くわかりました。患者会、経験者本人の意見発表もあり、これから小児がん治療はどういう方向性になっていくのかが良くわかったパネルディスカッションでした。こちらからの質問もメールで送れるようになっていて、福井会場で上がった質問を送りました。ちゃんと届いて、答えてもらえました。福井大学の片山先生からは、がん対策において、福井が遅れているのはわかっている。行政と病院と患者が一つに意見を出し合える場を設け、協働を進めていこうと思っている。今後も協力は惜しまない旨のご発言がありました。ありがたいことです。こちらこそ協力は惜しみません。よろしく願致します。

